



日本医療機能評価機構

より高度な整形外科医療を志すために

たかおか 整志会

TAKAOKA SEISHIKAI

| 広 | 報 | 誌 |

2024
秋号
No.72



勝興寺
(高岡市伏木)

勝興寺は、近世以降、加賀藩前田家の庇護のもと、本願寺との関係を深めました。浄土真宗が畿内から北陸へ拡大する中、地域の拠点となった宗教施設として深い文化史的意義を有しています。本堂は、近世の大型真宗本堂としては屈指の規模を持ち、令和4年12月12日に国宝指定されました。

撮影者：外来看護師 室川 裕子

CONTENTS もくじ

- 2 巻頭言 坂巻麻酔科部長
- 3 外来満足度調査
- 4 特別講演「脊椎外傷の予防につなげる一般住民調査」
弘前大学大学院医学研究科 整形外科科学講座 和田 簡一郎准教授
- 5 認知症サポート医
- 6 勤続20年・10年表彰
第35回万葉集全20巻朗唱の会
- 7 新人紹介
14歳の挑戦

高岡整志会病院 基本理念

- 1.市民の健康・医療・福祉の向上を目指し、明るい豊かな生活の実現に貢献します。
- 2.職員が生き生きとして豊かにその使命を発揮する場を作り、患者さんが迅速に社会復帰できるように努めます。
- 3.整形外科専門病院として、すべての患者さんの尊厳と権利を尊重し、最先端の技術で患者さん中心の治療を実践します。



日本医療機能評価機構認定病院

巻 | 頭 | 言

The greeting of the beginning of a book

麻酔科部長 坂巻 緑



2020年、網膜剥離になった。仕事(麻酔)中、突然目の前に雨がざーっと降る水墨画が一瞬現れ消えた。翌日眼科で、網膜剥離だから手術が必要と言われた。勧められた3か所の総合病院から、自宅に一番近い病院を選んだ。てっきり全身麻酔でやと思っていたが、幸い剥離が小さく局所麻酔でやる人も多いと聞き、また3泊4日の入院でよいというので局所麻酔を選んだ。入院した翌日の手術は、だいぶ遅れて夜7時ぐらいからだ。手術室に入り、大体の流れは予想がついてはいたが、心電図をつけられ血圧計が巻かれ、目の消毒、ドレープ等々、される側になると、その一連が慌ただしいことこのうえない。そして「少し痛いですが麻酔の注射をします」と言われた直後、目の奥で火花があがった、ように感じた。球後麻酔だった。人生最大級の衝撃だった。手術中は、麻酔の効きがいまひとつだったようで度々痛かったが、「痛〜〜っ！」と思った時、モニターから聞こえる自分の心拍数があれよあれよと徐脈になっていく。あれ？私の心臓止まる？(眼心臓反射ですね)と思ったら、術者の手がゆるみ、しばらくして助手が「大丈夫みたいです」と言うのが聞こえて手術再開。何も見えない分、耳はとても敏感になっていた。実は、手術室に入ってしばらく聞こえていた音楽も気になっていた。子供向けのような騒々しい曲。誰のための音楽？私と入れ替わりで出て行った患者さんは、私より高齢の男性だったが、当院では、手術の患者さんにはあらかじめ入室時に流す音楽を選んでもらっている。

コロナ禍前は、付き添いや見舞客もいて、院内(特に入院病棟)は全体的に今よりざわざわしていたと思うが、今はとても静かだ。そうすると、ベッドで安静にしている患者さんには色々な音や会話が聞こえやすいのではないだろうか。当院に設置されている「意見の宝箱(患者さんにご意見、感想、苦情などを投函して頂く箱)」にも投函されたことがあるが、職員同士での会話に対する苦情はどここの病院でもあるようだ。私の入院中は、比較的奥の病室だったせいか、そういったことは気にならなかった。もちろん手術中も無駄なお喋りは聞こえなかった。

当院の良いところとして、挨拶、が挙げられると思うが、その代表は院長が毎朝病棟をまわって患者さんたちに挨拶をしていることであろう。私たち職員も、患者さんへの挨拶や目礼を心がけている。職員同士の挨拶も皆身についていると思う。挨拶に加えて「昨夜は暑かったね」、「髪の毛切った？」など、ちょっとした言葉を職員同士かわすこともある。近頃の若い人たちは、そういった職場での潤滑油的な会話は必要なく迷惑だと考える傾向にあるようだが、それはさておき職員同士の会話は、第三者を意識して注意を払いたい。会話の輪の中にいるとなかなか気づかないが、離れてみると冷静になれることもある。

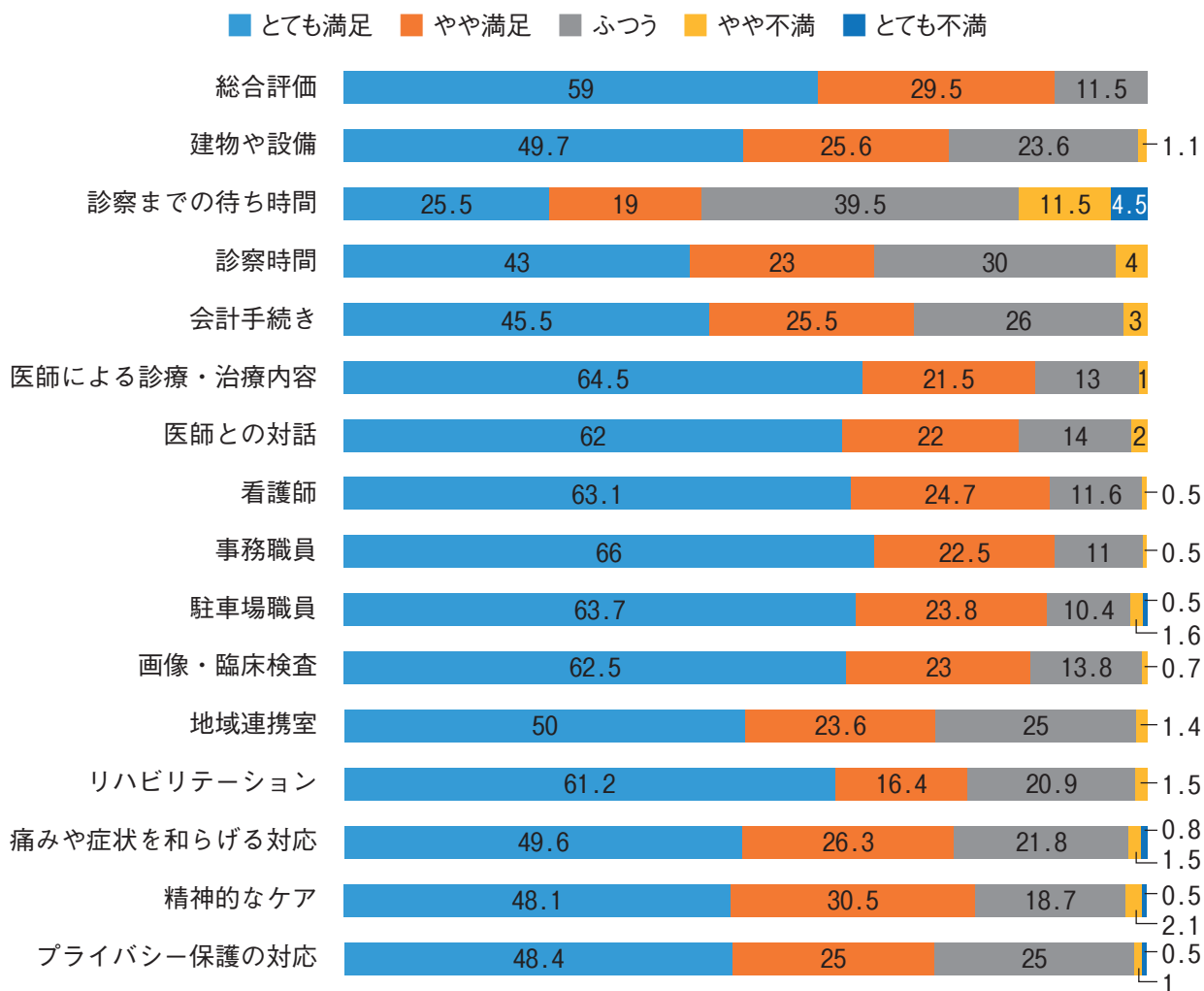
おかげさまでその後目に問題はなく、小さな網膜剥離を診断してくれた大学の先輩でもある眼科医と、手術を粛々としてくれた若い眼科医には感謝をしている。

2024年 外来満足度調査報告書

当院では、患者さんの満足度向上のため、外来患者さんを対象とした患者満足度調査を下記の実施期間で行いました。アンケートにご協力くださいました皆様に厚く御礼申し上げます。アンケート結果をふまえ、お褒めいただいたことを励みにしつつ、課題としてご指摘いただいたことにつきましては改善に取り組み、皆様の信頼に応えられるよう、努めてまいります。なお、患者満足度調査の結果につきましては、以下のとおり集計をいたしましたのでご参照ください。

実施期間 令和6年7月1日～8月10日（回収枚数200枚）

調査結果の主な結果は以下の通りです。



【満足なご意見】

- 次々起こる体の不都合に、いつもの確に答えてくださったり、処置、自分でする体操など教えて下さったり、痛みのない日々を送ることができ、感謝しております。院長先生に「大丈夫！」と言っていたくくと痛みが飛んでいくように思えます。
- 痛みや不安などに優しく向き合って、丁寧に説明をされて本当に診ていただいて良かったといつも思っています。いつも患者に寄り添われる姿勢が、とってもありがたううれしいです。
- 患部以外の事もきちんと対応してくださって、申し訳なくもあり、たいへんありがたいです。先生や看護師さん、優しく対応していただきありがとうございます。

- はっきりとした声でいつも対応してくださるので、安心して治療を受けることができます。（医師・看護師・事務の方全てです。）
- 受付に立っていてくれる方がいるのはとてもありがたいです。（どうすればいいかわからなくて不安なので）

【不満なご意見】

- 診察時も質問に対しての返答はあったが、「もっとこうしたらいいですよ」があったら良かった。
- 駐車場がもっと止めやすいと助かります。
- 待ち時間は来院時間と曜日によって異なる。

特別講演

令和6年8月23日(金) 於:ホテルニューオータニ高岡

演題:「脊椎外傷の予防につなげる一般住民調査」

弘前大学大学院医学研究科 整形外科科学講座 准教授 和田 簡一郎先生

青森県はリンゴの収穫量が日本第1位で、リンゴ農家が多く、65歳以上の就労者が6割を超えること、また、農作業中にはしごや脚立からの転落や、乗用スプレーヤーなどによる事故が増えている現状を報告されました。事故にて脊髄損傷を受傷すると、第一次産業が減少し、介護負担感が増えるため、事故の予防が重要だということでした。

そこで、地域住民による合同健診を実施して、年齢、性別、農業に従事しているかどうか、脊柱管狭窄症があるかなどの調査を実施し、加齢に伴い、頸髄損傷のリスクとなる脊柱管狭窄の割合が上昇するとのことでした。また加齢とともに転倒や転落のリスクが高くなり、男性は頭部打撲のリスクが高いとの結果でした。農作業の事故の要因は、人・物・環境のミスマッチから起こることとで、データを活用し超高齢社会の農業のあり方に行政も含めて、皆で取り組んで行く必要があるとのことでした。

少々難しい話ではありましたが、いかに外傷事故の予防が重要か、理解を深めることができました。



ビアパーティー

令和6年8月23日(金) 於:ホテルニューオータニ高岡 〈企画委員会〉

毎日の暑さを吹き飛ばそう！と、今年度も当院恒例のビアパーティーを盛大に行うことができました。昨年に引き続き、ソプラノコンサートを開催し、優雅な時の流れを感じながらのお食事、仲間との楽しい会話も弾み、素敵な時間を過ごすことができました。各チームの思考を凝らした余興では、チームの団結力のもと大盛況に終わりました。招待客の皆様、職員ともに大いに盛り上がり、明日への活力に繋げることができたと思います。皆様のご協力のもと、無事ビアパーティーを開催することができたことを、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



認知症サポート医

麻酔科・痛み緩和診療部長 神谷 和男

高齢の増加に伴い認知症高齢者も増加し、認知症有病率が一定である場合では、2025年に675万人（高齢者に占める割合19.0%）になると推計されている。より健全な超高齢社会を迎えるためには、予防からケアに至るまで、一層の認知症施策の推進と充実が求められている。ちなみに認知症における予防とは進行を抑えることであり、発生させないことではない。

当院では、入院患者は高齢者が多いため認知症患者のサポートをより充実させることが求められた。そのため、小生と畠山手術部長は、認知症サポート医養成研修（テキスト、e-learningによる講義と試験及びグループ研修）を受け、令和6年7月13日修了証書を受領した。

認知症サポート医は、まだまだ聞きなれない名称であり、どのような機能・役割を担うか、診療状況によって違ってくる。当院では「認知症の人の医療・介護に関わるかかりつけ医や介護専門職に対するサポート」となる。その他の機能・役割には、地域包括支援センターを中心とした多職種の連携づくりや研修講師や住民等への啓発などがあるが、現時点では困難である。

新たな認知症サポートチームが発足した。我々認知症サポート医は、手術前にかかりつけ医から診療情報提供書をもとに認知症に対する予防、ケアに努めること、さらに最も入院患者に接する看護師に対するサポートのため、より一層励む次第である。



第17回BLS講習会（一次救命処置）

看護師 寺島 梨央



BLS講習では、傷病者に体毛がある場合、水にぬれている場合、湿布などを貼付している場合それぞれの注意点を意識しながら、胸骨圧迫やAEDの使用方法などを実践しました。胸骨圧迫では、強く、早く、絶え間なく、リズムカルに胸の中心部を圧迫すること、また、傷病者を発見してから迅速な除細動を行うことが、救命に繋がることを学びました。心肺蘇生を行うだけでも、傷病者の救命率は大幅に向上します。いざ自分がそのような場面に遭遇した時に迅速に行動できるように、心肺蘇生の技術や緊急時の対応についてしっかりと身に付けておきたいと感じました。



学 術 活 動

2024年4月～8月

² 麻酔科

◆日本麻酔科学会 第71回学術集会

2024年6月6日～8日 神戸ポートピアホテル、神戸国際展示場、神戸国際会議場

「腰椎弓切除術後アセトアミノフェン定時2回静注が術後フェンタニル使用量と術後合併症に及ぼす影響」

○神谷和男²、畠山登²、坂巻緑²、佐藤根敏彦²

◆日本ペインクリニック学会 第57回学術集会

2024年7月18日～20日 栃木総合文化センター、宇都宮東武ホテルグランデ

「長期の線維筋痛症が寛解した2症例」

○神谷和男²、畠山登²

勤続20年・10年表彰

看護副師長 上見 亜由美

院長先生をはじめ、多くの職員の方に支えられながら勤続20年を迎えることが出来ました。あっという間の20年で、振り返ってみれば辛いこともありましたが、楽しかったことも多く、働きやすい環境やスタッフに恵まれたからこそ20年も勤められたのだと感じています。これからも笑顔を絶やさず頑張っていきたいと思います。



後列左から 山口 美保 上見 亜由美
前列左から 前馬 さと美 川岸 院長 本川 香織



後列左から 林 八重子 小馬崎 雅砂美 蓑輪 彩加
前列左から 松永 真弓 加納 由記

第44回高岡万葉まつり「第35回万葉集全20巻朗唱の会」

万葉集全20巻4,516首の歌のすべてを、リレー方式で歌い継ぐ全国でも珍しいイベント「第35回万葉集全20巻朗唱の会」に今年も動画で参加いたします。当院からは神谷和男麻酔科・痛み緩和診療部長、京角敬太理学療法士、平香織医師事務作業補助者、亀岡由衣医療事務の4名が参加しました。万葉衣装を身に着け朗唱し、素敵な声を響かせました。

【朗唱歌：八六四番～八七一番】

*動画は高岡ケーブルネットワーク9チャンネルで10月4日(金)～6日(日)に放映。また高岡万葉まつりのYouTubeチャンネルは10月4日(金)から公開されます。



七夕飾り～願いが叶いますように～

今年も旧暦に沿った8月7日に合わせ7月30日～8月7日の間、外来や入院中の患者さんの願いがこもった色とりどりの短冊が玄関やデイルームなどを彩りました。

患者さんの中には「元気になりたい」や「旅行に行きたい」などの願いがありました。また能登半島地震からの復興を願う短冊も多数ありました。まだまだ復興には時間がかかりそうですが、被災された方々が早く元通りの生活ができることを職員一同、願っております。

どうか皆さまの願いが叶いますように。



春の消防訓練

令和6年7月26日(金) 防災管理委員会

年に2回実施している消防訓練の1回目を実施しました。今回は夜間帯で出勤者が少ない状況を想定しての訓練で、消防署からの出向もありました。少ない人数でも火元発見から初期消火、消防署通報、院内放送、避難誘導において、消防署員からの評価は概ね良好でした。しかし、出火場所を発見した際に回りに知らせるために大きな声を出すことや状況に応じて迅速に対応できるようにとの指摘を受けました。今回の反省も踏まえて、今後の消防訓練に活かしていきたいと思います。



新人紹介



管理栄養士
奥山 文美さん

7月より入職させて頂きました。知識や経験だけではなく、患者さんの症状や気持ちに寄り添った栄養面のサポートを行いたいと考えております。よろしくお願い致します。



医師事務作業補助者
坂尻 彩乃さん

皆様初めまして。7月より医師事務で勤務させて頂いております。まだまだ未熟者ではありますが少しでも早くお力になれるように精進して参ります。どうぞ、よろしくお願い致します。



調理員
北浦 秀子さん

5月から栄養管理科でパート勤務をさせて頂いております。年齢は高いのですが、体力・気力・意欲があるうちは貢献すべきと思っております。まわりの方々からの教を糧に頑張りますのでよろしくお願い致します。



看護補助者
永井 利恵さん

6月より2病棟にて勤務させて頂いております。忙しい日々の中でも思いやりの心を忘れずに努めてまいります。よろしくお願い致します。



管理課
室田 亨さん

8月より管理課にて勤務させていただきます。まったく新しい環境で戸惑うことばかりで業務に慣れるまでいろいろとお世話になることと思います。少しでも早く病院のお力になれるよう、また患者様のお役に立てるよう精一杯努めてまいりますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

社会に学ぶ「14歳の挑戦」

令和6年7月3日(水)～9日(火)

高陵中学校2年生3名が当院に5日間、職場体験に来ました。病院で働くほとんどの職種に関わり、医療に携わる仕事の理解を深める5日間となりました。多くの様々なことを経験することで、いろいろ感じたり、考えたりするきっかけとなり、この学びが少しでも成長の糧になればと期待しています。



健康講座開催のお知らせ

富山新聞文化センター健康講座

「整志会いきいき健康セミナー」
健康寿命を延ばそう！ ～いつまでも健康に過ごすためのポイント～

講演会、運動指導教室、健康チェック（血圧、骨密度、体脂肪率と筋肉量）、ロコモ度チェック（骨歩行テスト、バランステスト）、個別相談

日時：11月9日(土) 13:00～16:00

会場：富山新聞高岡会館（高岡市広小路1-15）

講演会：「背骨のいたみの治療 ～骨粗鬆症を中心に～」 澤田利匡診療部長

「運動の専門家から学ぶ身体の使い方」 沢崎亨リハビリテーション科主任

運動指導教室：「理学療法士による筋力バランス運動指導」

【参加申込先】 富山新聞文化センター TEL 0766-26-7000（平日・土曜 9:30～18:30）



地域における「かかりつけ医」から整形外科専門病院として、

■ 患者さんの権利

1. プライバシーと尊厳が守られ、差別なく公平な医療を受けることができます。
2. 十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意志で決めることができます。

～個人情報保護法について～

当院では、個人情報保護管理委員会を設置し、患者さんの個人情報保護に全力で取り組んでいます。ご意見、ご質問は総合受付へお気軽にご相談下さい。

■ 外来診療担当医師のお知らせ

2024年10月1日より

		月	火	水	木	金	土
午前	整形外科	8:00～12:00					8:30～12:00
		川岸	川岸	田中 金粕	川岸	澤田 長沖	川岸 (第1・2・3・5土曜日) 金粕 (奇数月 第4土曜日) 田中 (偶数月 第4土曜日)
	関節外科 整形外科一般		9:00～12:00 中原		第2・4木曜日 8:00～9:20 中野(予約制)		
		9:30～12:00 瀬川			9:30～12:00 瀬川	第1・3金曜日 9:30～12:00 瀬川(予約制)	
	側弯外来						第2土曜日 9:00～11:00 関
	痛み緩和 診療外来					第2・4金曜日 9:00～11:40 神谷(予約制)	
午後	整形外科	2:00～6:00 田中	2:00～6:00 澤田	2:00～6:00 澤田	2:00～6:00 金粕	休診	
		2:00～6:00 金粕	2:00～6:00 瀬川		2:00～6:00 田中		
	股関節外来			2:00～5:00 高橋(予約制あり)			
	慢性の 痛み外来		2:00～6:00 畠山(予約制)				
	痛み緩和 診療外来			第1・2・4・5水曜日 3:00～5:00 神谷(予約制)	2:00～6:00 神谷(予約制)		
	発熱外来	1:00～2:00 川岸利臣(予約制)					

- 午後の診察の受付は午前より行っています。
 - 午前(月～木)の診察は、手術により12時以降は他の医師の診察となる場合がありますのでご了承ください。
 - 担当医師が学会等で不在や診療時間が急に変更になる場合がございますので、事前にお問い合わせください。
- 電話によるお問い合わせ 月～木 9:00～17:00、金・土 9:00～12:00

病院周辺図



◆ あいの風とやま鉄道で高岡駅下車

古城公園口(北口)より約700m 徒歩約8分

◆ 北陸新幹線で新高岡駅下車

新高岡駅より約3km タクシーで約10分

※新高岡駅～高岡駅間は、
城端線で約5分、バスで約15分

〒933-0039 富山県高岡市大手町 8-31
TEL (0766) 22-2468
FAX (0766) 26-7948

編集後記

今年の夏は特に暑く、皆様も体調管理が大変だったのではないのでしょうか。これからは新米等、秋の味覚がおいしい季節です。たくさん食べて秋を満喫しましょう!(S)

ホームページに
アクセスできます

